

筑後川下流地域のクリークを活用した 先行排水の取り組みについて

筑後市

近年、想定を超える局地的な集中豪雨が全国で多発しており、筑後川下流域においても内水氾濫等により大規模かつ長時間の湛水が発生し、家屋や公共施設、農業等に大きな被害をもたらしています。

これらの被害を軽減させるため、筑後川下流域に広がるクリークを活用した【先行排水】の広域化に取り組んでいます。

国営筑後川下流土地改良事業等により整備されたクリークは、かんがい期の用水確保はもちろんのこと、大雨時には雨を一時貯留する機能を持ち、平地におけるダム役割を果たしています。

また当初は土水路で整備されたクリークでしたが、大雨・洪水時に備え、急激に水位を低下させても水路の法面が崩壊しないように、防災事業により護岸工事を行ってきました。

先行排水を広域的かつ効果的に実施するためには、複数年にわたる試行・検証が必要であり、何より地元の皆様の協力が不可欠です。

先行排水を広域的かつ効果的に実施し、湛水被害を軽減するために関係者の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

